

令和元年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		12-	17
事業名	道路橋りょう災害復旧事業	会計	款	項	目
		一般	13	2	1
施策	1 安全・安心なまち	課名	建設課		
	1-2 住みやすいまちをつくる	係名	土木係		
	1-2-2 道路・公共交通網の整備				
主要施策	③安全で快適な道づくりの推進				

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民（歩行者、ドライバー）、通過・来訪者	目的（対象がどのような状態になっているか）	利用者が安全に通行が出来る道路環境の整備を行う。
事業内容	風水害等により被災した、道路施設等の復旧を行い、利用者の安全を確保する。			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	目標方向	令和2年度（目標）	
	1								
	2								
	3								
	4								
	5								
			平成30年度（決算）		令和元年度（決算）	令和2年度（予算）			
全体事業費（千円）A+B						24,205	24,598		
財源内訳	直接事業費A					20,509	19,780		
	うち一般財源					20,509	15,518		
人件費（千円）B						3,696	4,818		
内訳	一般職員（人・千円）				0	0.56	3696	0.73	4818
	臨時職員（人・千円）				0	0	0	0	0

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適正である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R1年度の改善計画		③取組の課題	被災箇所が町内に点在し調査等に時間を要した。
②R1年度に実施した取り組み	災害発生後、速やかに現地調査を実施し、小規模な被災箇所を年度内に補修等を完了させた。また、道路法面崩落箇所（長深）については復旧工法等を検討し、地元との調整後、復旧工事の発注を行った。	④今後の改善計画	令和2年度中に崩落箇所の復旧工事を完了させる。